



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第648号
2024年9月16日
発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

高すぎる東葉高速線の運賃問題

2023年度決算は33億円の純利益を計上！

東葉高速鉄道は6月20日、2023年度決算を公表。旅客運輸収入が前年度比7.7%増の152億9千3百万円、営業利益は前年度比22.4%増の57億6百万円、純利益は過去最高の33億5百万円を計上しました。

長期の有利子負債(約2,202億円)が無ければ超優良企業と言える決算になっています。

利益は利用者へ還元するべき

東葉高速鉄道はこれまで、利用者への還元よりも借入返済を優先し、2002年度から2019年度の間、385億円もの利益を繰上償還(繰上返済)しています。

しかし過去には、東葉高速鉄道への経営支援ということで、償還期間の延長を実施し、現在でも沿線自治体による利子補給を行っています。それなのに繰上償還を実施するということは、なんのための償還期間の延長だったのでしょうか？

東葉高速鉄道の大きな利益は、株主でもある沿線自治体の県民や市民へ運賃値下げのかたちで還元するべきではないでしょうか？

利益の一部で学割定期の無償化も!?

東葉高速鉄道の2023年度運輸収入は約153億円です。単純に言えば純利益33億円を活用して、高い運賃を約2割値下げすることができます。

また運輸収入は、通学定期だけで約12億円です。ここへ純利益33億円の内、約6億円を活用することで、通学定期を半額にすることも可能です。

さらに純利益の内、約12億円を活用するだけで、通学定期代を無償にすることも可能なのです。

市長は東葉高速鉄道と国へ求めるべき

9月定例議会の中で日本共産党は服部市長に対し、高すぎる東葉高速鉄道の運賃問題について、「純利益の一部を活用するだけで通学定期の割引率拡大の実現が可能」ということを東葉高速鉄道の取締役会で提案するべきと求めました。

また、「東葉高速線が抱える巨額の有利子負債は、後から開通した“つくばエクスプレス”のように無利子負債へ変更するべき」と国に対して求めるべきと要望しました。

2023年度決算 (単位:百万円)

営業収益	旅客運輸収入	15,293
	運輸雑収	519
		15,813
営業費用		10,107
営業利益		5,706
営業外収益		60
営業外費用		1,064
経常利益		4,702
当期純利益		3,305

※百万円未満は切り捨てた金額です。

2023年度運輸収入内訳

定期	通勤	7,014,154千円
	通学	1,163,562千円
		8,177,716千円
定期外		7,116,214千円
		運輸収入合計 15,293,930千円